






令和5年度執行目標 上下水道部

部局	課・室	番号	執行目標項目	【SDGs】との関連	執行目標の内容	背景・課題・留意点等	項目(単位)	根拠計画等	現況値・実績(見込)値	R5指標・目標値
上下水道部	業務課	1	新水道ビジョン中間改訂		平成31年3月に策定した木津川市新水道ビジョン(経営戦略を含む)の中間改訂を行う。改訂に伴う計画見直し期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間とし、経営戦略については更に令和15年度までの5年間の計画を策定することとする。木津川市水道事業の将来像及び経営状況・財務状況を明確にし、経営の健全性を確保するとともに、経営基盤の強化及び適切な水道事業における財源確保を図るものとする。	アセットマネジメントでの検討内容を踏まえた水道事業基本計画である木津川市新水道ビジョンについて、中間改訂を行い、今後の急速な人口減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、公営企業の経営環境が厳しさを増す中、将来にわたり住民生活に必要なサービスを安定的に提供していくため、特に、水道施設の機能を維持するために必要な今後の施設更新等のサイクル、水道料金改定の必要性について改めて検討し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることが求められる。				
上下水道部	業務課	2	公共下水道事業経営戦略改訂		平成31年3月に策定した木津川市公共下水道事業経営戦略の改訂を行う。改訂に伴う計画見直し・策定する期間は、令和7年度から令和16年度までの10年間とし、木津川市公共下水道事業の将来像及び経営状況・財務状況を明確にし、経営の健全性を確保するとともに、経営基盤の強化及び適切な公共下水道事業における財源確保を図るものとする	今後の急速な人口減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、公営企業の経営環境が厳しさを増す中、将来にわたり住民生活に必要なサービスを安定的に提供していくため、経営戦略の改訂等を通じ、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることが求められる。また、社会資本整備総合交付金等の交付要件として、経営分析には経営比較分析表における経営指標の概要を参考にし、経費回収率・経常収支比率・水洗化率等の複数の指標を用い、収入増加・支出削減のための具体的取組及び実施時期を明確にすることなどを経営戦略に記載しなければならない。				
上下水道部	工務課	1	山城浄水場更新工事		山城地区における上水道の安定供給を図るため、老朽化した浄水場の更新を図る。	現在の山城浄水場は昭和51年に完成し、今日まで山城地区における上水道を安定供給してきたが、施設の老朽化に加え現在の耐震基準を満たしていないため、安定した施設の運営や給水事業を行うために、山城浄水場の更新が急務である。山城浄水場更新工事を令和4年度に契約し、今年度(令和5年度)から本格的に着手し、令和8年度完成、令和7年度中に供用開始を目指す。		木津川市新水道ビジョン		
上下水道部	工務課	2	布設水道管の更新整備		水道事業における経年水道管の耐震管への更新を進めていく。	老朽化の進んだ水道管を耐震管に更新することで、修繕費等の低減を図り、災害に強い水道を構築する。	工事施工延長(m)		-	1,850
上下水道部	工務課	3	施設更新(下水道・ストックマネジメント事業)		木津川市国土強靱化地域計画、木津川市公共施設等総合管理計画及びに、木津川市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的な維持管理を行い、更新費用の低減や平準化を図ると共に、災害時に下水道機能を確保するため加茂浄化センターの耐震化、長寿命化を図る。	加茂浄化センター、マンホールポンプ施設の更新については、木津川市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき令和2年度から着手しており、本年度も引き続き業務を進める。また、加茂浄化センターにおいては、耐震診断結果に基づき、耐震化の必要性を精査した後、補強設計、耐震化工事をを進める。	業務件数(件)	木津川市公共下水道ストックマネジメント計画	3	5